

答え合わせ・解説

問1	答え 3 観阿弥	観阿弥は、独自の工夫を加えて演劇性を高め、息子である世阿弥とともに「能楽」という日本の伝統芸能を大成させました。特に観阿弥の躍動感ある芸風は、義満の絶大な支持を受け、能が武家社会の教養として定着するきっかけとなりました。
問2	答え 2 足利義満	明との貿易を望んだ義満は、明側からの「倭寇の取り締まり」という条件を受け入れ、勘合貿易を開始しました。これにより日本は多大な経済的利益を得ただけでなく、中国の文化や技術を取り入れるきっかけとなりました。
問3	答え 2 足利義満	足利義満は室町幕府の三代将軍で、南北朝を合一させ、幕府の権力を安定させました。また、明との貿易を望み、海賊である倭寇を鎮圧することを条件に貿易を再開させ、経済的な基盤を整えました。京都に金閣（鹿苑寺）を建立したことで有名です。
問4	答え 2 定期市	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に定期市を開かせました。決まった日に開かれるこの市は、農村や都市の人々が物資を交換する場となり、経済の中心地として発展しました。
問5	答え 1 鹿苑寺金閣	鹿苑寺金閣は、この北山山荘の中核として建てられた舍利殿です。2層と3層に金箔が貼られており、池に映る姿は室町文化の豪華さを象徴しています。
問6	答え 1 15世紀	15世紀に入り、尚巴志が各地の勢力を平定して沖縄本島を統一し、琉球王国を建国しました。この国は、東アジアの海域ネットワークの中心として、中国や日本、東南アジアとの中継貿易によって大きな繁栄を遂げました。
問7	答え 4 世阿弥	世阿弥は、父である観阿弥の才能を受け継ぎ、室町幕府の将軍足利義満に認められました。彼は能の理論を記した『風姿花伝』を著すとともに、多くの優れた脚本を書き上げ、能を大衆的な芸能から芸術性の高い舞台芸能へと完成させました。
問8	答え 2 近江国	1428年に近江国（現在の滋賀県）の馬借らが蜂起したのが正長の土一揆の始まりです。馬借とは馬を使って荷物を運ぶ運送業者で、この時代の流通において重要な役割を果たしていました。彼らが酒屋や土倉を襲撃し、借金の破棄を求めた動きは瞬く間に近畿地方全体へと広がりました。
問9	答え 4 枯山水	枯山水は、池や川などの水を用いず、白砂や石の配置によって、山水の風景や海、大自然の深淵さを表現する庭園様式です。見る人の想像力に訴えかける「わび・さび」の精神が重視されました。
問10	答え 1 足利義政	足利義政は、政治への関心を失う一方で、禅宗の思想の影響を受けた「わび・さび」という独特の美的感覚を深めました。自らの山荘として慈照寺（銀閣）を建て、そこを拠点に東山文化を花開かせました。
問11	答え 1 勘合貿易	足利義満が開始した勘合貿易は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。これにより倭寇と区別され、円滑で利益の大きい貿易が可能となりました。細川氏や大内氏といった有力な守護大名がこの貿易の実権を争い、大きな利益を得ました。
問12	答え 3 三山	15世紀の初め、中山の王であった尚巴志が、この3つの勢力を統一しました。これにより、島全体を統括する「琉球王国」が誕生しました。統一により社会の安定がもたらされ、後の東アジアにおける活発な中継貿易の拠点となる地盤が築かれました。
問13	答え 2 建武の新政	後醍醐天皇は、天皇中心の政治を行うために、公家を重用し武士の意見を十分に聞かない政策を行いました。京都を中心としたこの政治体制は、武士の土地の権利を不安定にしたため、多くの武士の不満を買う結果となりました。このため、わずか2年半ほどで崩壊しました。
問14	答え 4 東山文化	東山文化は、禅宗の影響を強く受けているのが特徴です。簡素で落ち着いた「わび・さび」の精神が重視され、書院造の原型や水墨画、能楽などが大きく発展しました。これまでの武家文化と公家文化が融合し、現代の日本文化にもつながる大きな影響を与えました。
問15	答え 3 雪舟	雪舟は日本の禅僧でありながら、遣明船に乗って中国へ渡り、本場の絵画技術を学びました。帰国後、彼は風景を大胆な構図で表現する日本独自的水墨画を確立し、数多くの傑作を残しました。「四季山水図巻」などが代表作として知られています。
問16	答え 1 徳政令	徳政令は、借金の免除を命じる法令のことです。幕府がこれを出すことで、農民や困窮した武士は借金の返済義務から免れました。正長の土一揆などの大きな一揆が発生した際、民衆の要求に応じる形で幕府が発布したのが有名です。